



市民活動助成金 2013 対象団体決定！

年末の慌ただしい街にジングルベルが鳴り響く12月17日の午後、佐平ビル会議室に於いて「2013年度市民活動助成金(5回目)」および「ふくぎんみんなのサポート市民活動助成金(2回目)」の審査会がおこなわれ、各助成金に3団体が決定しました。

ふくしま NPO ネットワークセンター 2013 ふくしま元気市民活動助成金

- 会津北方小田付郷町衆会
小田付南町2850プロジェクト
- NPO 法人 キャリア・デザイナーズ
安積歴史博物館の清掃を通じた若者の社会参加
- はみんぐ BIRD
てととと会

福島銀行

ふくぎんみんなのサポート市民活動助成金

- ART for HOPE
アートで育むこどもたちの未来
- チャイルドラインふくしま
チャイルドラインふくしま会員募集パンフレット作成
- NPO 法人 あっとホームサービス
『知っておきたい介護旅行』講座開催事業

「前向きな姿勢に共鳴」

～ともに歩む市民活動～

ふくしまNPOネットワークセンターが認定NPOとして歩みだしたことをきっかけに、市民活動団体のサポートを強化したいという願いから、この自主事業がスタートしました。

また、福島銀行が昨年度に引き続き「ふくぎんみんなのサポート事業」として市民活動助成金を実施しました。福島銀行が当NPOと継続的に助成事業にとり組めたことは、市民活動の成果や効果がさらに発展するものと期待を高めています。

今年度は県内全域にわたる地域から17団体の応募がありました。これまで課題としてきた広報も、県内の市民活動サポートセンターなどへの呼びかけや、県内全域に支店を持つ福島銀行のネットワーク力が発揮されたことで広域に周知がはかれたものと実感しています。応募内容は、被災者支援、まちづくり、障がい者支援、子育て支援など社会の課題への取り組みに加えて、復興をたくましく乗り越えるためのヒントが含まれていて、私たちも学ぶべき事が多い事業となりました。いずれも活動団体の皆さんの前向きな姿勢が伺え、審査委員の皆さんも甲乙付け難く、長時間にわたる意見交換を重ね、審査に苦慮されていました。

ご応募くださった皆さん、ありがとうございました。次年度もお待ちしています。

(担当：ふくしま NPO ネットワークセンター 常務理事 齋藤美佐)

市民活動を真面目に応援します！

～福島銀行コメント～

「ふくぎんみんなのサポート市民活動助成金」は今年度で第二回目となります。私自身も選考委員の一人として参加させていただきましたが、応募総数は昨年度と変わりませんでした。その取り組み内容については幅が広がってきたというのが私の受けた印象でした。各選考委員の方々の様々な角度からの検討のもと、助成金を有意義に活用いただける団体様が選考されたものと思います。

これからも「真面目にがんばっている人を真面目に応援するために、この助成金を継続したいと考えています。

(担当：福島銀行 吉田正秋)



▲数時間に亘った選考会

◆東北6県 NPO 法人情報交換会◆

～中間支援の役割を探る～

この情報交換会の発端は、東北労金の「ボランティアさんを東北各県のNPOで受入れる際に中間支援組織が仲介の労を取る」プロジェクトから始まったものです。せっかく東北6県の有力中間支援組織が一堂に会するので、ついでに中間支援組織間で情報交換をしましょうということになりました。その後、東北労金の上記プロジェクトは終了しましたが、情報交換会は有意義なので独立して継続しています。

情報交換会には各県から1ないし2団体が参加しています。日本NPOセンターなどの中央組織とつながりの強い団体もあれば、NPO会計基準などの特定のテーマに強い団体も

あり、なにかと有意義な情報が得られます。それに加えて、内閣府からの「新しい公共」の大きな予算などを、各県のNPO行政ではどう考え、どのように配分しているかなど、県ごとの取り組みの違いが分かって大変参考になります。事務局を6県で順繰りに回してきていますので、そろそろ福島県に回ってきます。その折には、ぜひ情報交換会でどんな話し合いをしているか覗いてみてください。

(報告: ふくしま NPO ネットワークセンター 理事長 星野 珉二)



第9回 のっぽアカデミー (第66回NPO研究会)

「個人情報保護」入門

2013年11月5日、株式会社エフコム clearinghouse の清野克之氏を講師にお迎えし、第9回 のっぽアカデミー (第66回NPO研究会) 「『個人情報保護』入門」が開催されました。清野さんは、プライバシーマーク制度 (「事業者が個人情報の取扱いを適切に行う体制等を整備していることを認定し、その証として「プライバシーマーク」の使用を認める制度」) の審査員も務めている、いわばその道のプロフェッショナル。個人

情報保護法の趣旨、情報漏洩事故・事件の実例をふまえて、実に明快に漏洩防止の心構えと具体策を伝授してくださいました。

パスワードは8桁以上、英数字混在、3ヶ月ごとに変更、ノートPCのワイヤロック、メール添付書類の暗号化などPC管理の基本から、資料の施錠管理と入退室管理、そして酒席で職場の話はしない、自宅で仕事はしない、さらには車上荒らし・置き引きへの注意まで。ひとつひとつは納得なのですが、これらについて事業体のメンバー全員が意識を共有し、全項目を遵守し続けるとなると、いささかハードルが高いかなというが正直な感想です。

しかし、当センターも多くの個人情報を扱っています。今日、個人情報の保護は、努力規定ではなく、義務規定であることを肝に銘じたいと思います。

(報告: ふくしま NPO ネットワークセンター 常務理事 牧田 実)



事故を防止する共通認識を持つよう!

第10回 のっぽアカデミー（第67回NPO研究会）

「伝えるコツ」を身につけよう!!

～NPOのための広報スキルアップセミナー～

それは日本NPOセンターからの「伝えるコツ」セミナーを主催する団体募集のメールから始まった。電通から講師を派遣し、講座を行うというものだ。昨年度、この講座を受講していた私は是非、福島で開催したいと相談し、応募した。

このセミナーは全国展開しており、日本NPOセンターを中心にNPOの広報力が向上することにより、日本の様々なNPOの活動がもっと広がり、もっと盛り上がることを願ってNPOのメンバーにより立ち上げられた「NPO広報力向上委員会」の企画である。

ふくしまNPOネットワークセンターでは、NPO広報力向上委員会の協力で昨年11月16日、コラッセふくしまにおいて、講師に数々のCM制作に関わり、TVなどでも活躍する電通株式会社 第4CRプランニング局 局長エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター 鈴木武人氏をむかえて「のっぽアカデミー」の1つとして開催し、30名を超える参加者があった。

講座は用意されたチラシ、映像をもとに豊富な実例をあげながら、消費者目線を意識した広報のコツを学び、後半は実際に所属する団体をテーマに団体紹介を考えるという実践で学んだ。4時間という長丁場であったが、参加者から「あつという間の楽しい時間であった。」「目からウロコ！また受講したい。」「このような講座をもっと開いてほしい。」との満足の声も聞くことができ、今後も喜んでいただける講座を開催したいとの新たな目標ができた。

（報告：福島市市民活動サポートセンターチーフ 内山愛美）



↑講師の鈴木氏の興味深い話に全員集中！



◆非営利活動支援センター意見交換会◆

～地域にあったきめ細やかな中間支援を～

情報交換会とは、平成25年度「復興へ向けた多様な主体との協働推進事業」における“県内支援センターのネットワークづくり”事業として、県内各地における市民活動支援センターによる質の高いサービス提供を目指す大事な地域連携事業です。

本年度は、3回実施されます。市民活動支援センターとして会津若松市、会津坂下町、会津美里町、西会津町、喜多方市、郡山市、須賀川市、白河市、相馬市、南相馬市、いわき市、福島市、伊達市の13団体と中間支援団体委託市町村、いわき市、白河市、二本松市、会津若松市、会津坂下町、会津美里町の6団体の19団体によって構成されています。

10月18日、12月10日とも郡山市で開催され、

長野県の事例や地域ごとの実態について紹介、共有し合っって中間支援の連携・交流の大事さを実感しました。

定例的な情報交換会の必要性とともに、地域活動実態や情報の共有の大事さから市町村担当者の参加も検討すべきなどの積極的な意見が出されました。

これらを受けて、3月6日に郡山市の労働福祉会館で第3回の情報交換会が開催されました。今年度のこの活動を通して、今後の新しい中間支援の在り方についてイメージを共有するとともに、地域活動団体への専門家派遣システム構築の可能性について探りたいと考えています。

（報告：ふくしま地域活動団体サポートセンター所長 丹治志志）

◆講座案内◆

市民活動講座

『パソコンによる会計処理講座』 ～なろう！会計の達人～

会計の基礎ができればステップアップ。パソコンを使って税務・会計の処理をしてみませんか？無料の会計ソフトを使い、パソコンを使った税務・会計処理の実践講座。実務に合わせた内容なので、団体に戻って即実践！

※受講に際しパソコンの持込をお勧めしますが、貸出希望の方は、受講申込の際に伝えてください。

●日時・場所

1月24日(金) 13:30～15:30

福島市市民活動サポートセンター 会議室

●講師

成田 守 氏 (有限会社コスモ会計 税理士)

●定員 15名

●申込み・問合せ

福島市市民活動サポートセンター ☎526-4533

◆市民活動フェスティバル 2014 開催！◆

来たる2月16日 A0Z(アオウゼ)に於いて、NPO・市民活動団体のみならず、地域団体を含めて幅広い市民の交流を図っていくため、“ふくしま市民活動フェスティバル 2014”を開催いたします。これからの地域社会の課題を共に考え、団体同士の相互理解とさらなる強い絆のネットワークを築いていくこと、そして多くの市民の方々に市民活動に関心を深めていただくための契機とすることを目的としています。

また、今回は福島市民憲章制定40周年記念事業の式典及びシンポジウムも併せて開催する予定です。

【内容】

●活動紹介 団体の活動を紹介

●ステージ発表 自主コンサート、自主映画上映等

●映像紹介 団体が創作した作品発表

●講座等 各種相談会、シンポジウム、学習会等

●販売コーナー、体験コーナー、飲食ブース

会場を多目的に活用し、自主企画の集合行事として、各団体の活動紹介・交流の場とします。

—福島県より受託、運営している施設—

●ふくしま地域活動団体サポートセンター

〒960-8043 福島市中町 8-2 福島県自治会館 7F

TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741

URL <http://www.f-npo.jp/saposen/>

E-mail saposen@f-npo.jp

●チョコラボ

〒960-8031 福島市栄町 7-33 錦ビル 4F

TEL 024-573-1970 FAX 024-573-1971

E-mail cholab@npo.-f.org

—福島市より受託、運営している施設—

●福島市市民活動サポートセンター

〒960-8041 福島市大町 4-15 チェンバおおまち3F

TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560

URL <http://www.f-ssc.jp>

E-mail f-ssc@bz01.plala.or.jp

●まちの駅 ふくしま情報ステーション

〒960-8053 福島市三河南町 1-20 コラッセふくしま 1F

TEL 024-525-4020 FAX 024-525-4027

URL <http://www.machi-fukushima.jp>

E-mail info@machi-fukushima.jp

編集後記

☒ 明けましておめでとうございます。今年は自分にとってチャレンジの年にしたいです。皆様にも良い年になりますように！

(事務局・根本靖子)



☒ 今年はどんな一年になるかしら…。素敵な一年になりますように！
まずは冬季オリンピックで盛り上がりましょうね！

(事務局・大山亜紀子)

●編集・発行

認定特定非営利活動法人

ふくしま NPO ネットワークセンター

〒960-8034 福島市置賜町 1-29 佐平ビル 8F

TEL 024-528-1211

FAX 024-528-1218

E-mail center@f-npo.jp

URL <http://www.f-npo.jp/>

